平成 24 年５月９日

各　　位

会 社 名　ＨＯＹＡ株式会社
代表者名　代表執行役ＣＥＯ　鈴木　洋
（コード番号 7741　東証第一部）
問合せ先　ＨＯＹＡグループＩＲ・広報室
室長　伊藤　直司
電話：　ＩＲ・広報室　03－3232－0062

平成 24 年３月期 個別業績に関するお知らせ

当社は本日、「平成24年３月期 決算短信[IFRS]（連結）」を開示いたしました。そこには個別業績については開示を省略しましたが、当事業年度の個別業績が、前事業年度の実績値との対比においてその差異が開示基準に達することとなりましたのでお知らせいたします。当社はこれまで当該期間に係る個別の業績予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値との比較となっております。

記

１．　平成 24 年３月期（通期）個別業績（平成 23 年４月１日～平成 24 年３月 31 日）

前事業年度の実績値との比較　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期利益
前事業年度実績（Ａ）（平成 23 年３月期）	290,797	16,877	55,521	43,239	円　銭 100.23
当事業年度実績（Ｂ）（平成 24 年３月期）	266,346	14,077	35,373	26,691	61.87
増減額（Ｂ－Ａ）	△24,451	△2,800	△20,148	△16,548	△38.36
増減率（％）	△8.4	△16.6	△36.3	△38.3	－

（注）　当社は連結決算に関しては平成 23 年 3 月期から国際会計基準（IFRS）に準拠して開示しておりますが、個別業績につきましては従来通り日本基準で公表しております。

２．　公表の理由

当社グループでは、投資者ニーズを踏まえたうえで投資者判断情報として有用性に乏しいとの観点から、個別業績の概要は予想を含めて記載を省略しております。

このたび、前事業年度と比較して、当事業年度の決算数値が大きく変動し、経常利益と当期純利益の差異が開示が要求される基準に達しましたので、その内容を公表するものであります。

＜前事業年度実績との差異が生じた理由＞

経常利益・当期純利益の差異いずれも、営業外収益の受取配当金が前事業年度と比べて大きく（20,956 百万円）減少しているためです。前事業年度において、事業譲渡等に伴い当社子会社から配当金を受領したことによるものであります。

以　上